

新型コロナウイルス感染症対策

今回の新型コロナウイルス感染の状況は日々刻一刻と変化をしています。一方、ORSC®トレーニングコースへの参加希望は以前にも増して高まっており、ORSC®に対する社会からの強いニーズを感じています。このニーズにお応えしつつ、参加者の方々、トレーナー（ファカルティ）、アシスタント、スタッフなどの最大限の安心安全を確保するため、CRR Global Japanでは東京都感染拡大防止ガイドラインに沿いながら、以下の方針のもと、感染予防対策の徹底を行ってまいります。

2020年8月
CRR Global Japan合同会社

【新型コロナウイルス感染症対策 対応方針】

- 1) コース参加者はもちろんのこと、トレーナー（ファカルティ）、アシスタント、スタッフを含めた全員の健康と安全に最大限注意し、参加できる環境を整える
- 2) 上記の安心安全の環境の整備の上で、ORSC®トレーニングへのニーズに応える
- 3) 会場（運営会社様）との連携を密にしつつ、安全なコース催行に必要な措置を講じていく
- 4) 感染予防の徹底をし、感染拡大の防止に努める

【コース開催時の感染予防対策】

- 0) コース開催まで
 - 登壇予定トレーナー（ファカルティ）は開催4日前～前日までに37度以上の発熱及び呼吸器症状が出ている場合、速やかに代替のトレーナーと交代する
 - 卒業生のアシスタントの方々にも自身の健康にご留意頂き、開催4日前～前日までに37度以上の発熱及び呼吸器症状が出ている場合、CRR Global Japan に速やかに連絡して頂き、交代する
- 1) 会場での事前準備
 - トレーナー（ファカルティ）、アシスタントは会場に集合した時点で毎日必ず非接触検温を行う *37度以上の場合、帰宅とする
 - 事前準備では使い捨て手袋を着用する
 - 必要に応じてマスクやフェイスシールドを着用する
 - 名札、ペン、手指消毒剤を設置する
 - 参加者用のペンはアルコールウェットティッシュで拭く
- 2) 初日受付
 - 受付でのアシスタントは使い捨て手袋及びマスク/フェイスシールドを着用する
 - 受付時の流れは以下を厳守する
 - ・名簿チェック→非接触検温（37度以下を確認）→手指消毒→名札作成→入室
 - ***37度以上の場合、再度検温実施（接触検温）→ 再度37度以上の場合、トレーナーに引き継ぐ。発熱している場合は帰宅頂く（事前承諾済）**

- 希望者にフェイスシールド、マスクを配布する
 - *フェイスシールドには名前を記載してもらい、基本的には全日程ご自身で管理して頂く
 - *使用済み手袋は使い回しを禁止し、会場の規定に従い必ず破棄する**
 - *フェイスシールドは最終日に会場の規定に従い必ず破棄する**

3) 2日目/3日目入室

- 朝の入室前に全参加者に入り口で非接触検温→手指消毒→入室
 - *37度以上の対応は初日と同じとする**
- アルコールウェットティッシュを後方に設置し、フェイスシールドを拭くように促す

4) コース開催中

- 手指消毒剤とアルコールウェットティッシュを部屋の中に設置。参加者、アシスタント、リーダー共にいつでも使えるようにする
- 座席や配置を工夫し、また演習時には複数の部屋を確保することで、人と人との間隔（ソーシャルディスタンス）を可能な限り確保する
- 参加者に対して、手洗い・消毒の慣行を促しつつ、アシスタント、トレーナー（ファカルティ）共に率先して手洗い・消毒に努める
- 部屋の中で複数の人が触れるような箇所（リフレッシュメント提供、資料場所など）を頻繁に消毒する
- 休憩中のリフレッシュメント（スナック）については個別包装のものを提供し、共有せず、随時食べきって頂く（食べ残しなどある場合は直ちに廃棄する）

参考) 会場の換気について（会場御茶ノ水トライエッジカンファレンス様より）
各部屋に設置の空調機「送風」設定において、防災センターより設定状態は常に外気の20～30%を取り入れて空気の循環がされています。そのため、定期的に行っている空気環境測定の結果、1室64名の定員での利用時でも、厚生労働省が発表している空気環境の基準数値をクリアしており「換気が悪い密閉空間」には該当していません。

- *その他にアシスタントして不明な点や対応に迷う様な事態はトレーナー（ファカルティ）に共有の上、その判断に従って行動するものとする**

【感染者及び疑いがある人が発生した時の対応】

- 万が一感染者や感染の疑いがある人が発生した場合、会場運営会社様と連携しつつ所轄の保健所と連絡をとり、その指導の下、感染拡大予防の対策を講じる
- コース開催中に発生した場合、速やかに催行を中止し、参加者に情報提供を行い、弊社、会場運営会社様、参加者の皆様と連携し、然るべき対策を講じる
- コース終了後に発生が分かった場合、参加者に速やかに連絡や情報提供を行い、弊社、会場運営会社様、参加者の皆様と連携し、然るべき対策を講じて頂く

参考)

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/res/projects/default_project/page/001/007/968/2020061901.pdf

以上